

房総 だより

(農)房総食料センター

千葉県山武郡横芝光町上原 368-1

<http://www.boso.or.jp/>

☆産地情報をお知らせします。

発行：2019年3月15日

石渡君のじゃがいも通信 第1回種まきまでが肝心！

家庭菜園の定番野菜。「種芋を植えればテキトーでも作れる。」
そんな声まで聞いたりします。おや？ちょっと待って下さい！
現場は想像以上に細心の注意を払って栽培しています。という事で
“食卓の救世主！？じゃがいも”の農作業について順を追ってお伝えします。



**2018年
10月**

育てる畑を選ぶ。この為の土壌分析を行う。結果、候補全て、じゃがいもの大敵、「そうか病」の出るPH(酸・アルカリの指数)と診断。その中で一番値の低い畑に決定。(そうか病：じゃがいもの皮に小さなかさぶたがつく)

11月

土壌病害対策に薬剤を散布。使用可能範囲で弱い薬を使用。強い薬は土壌の生物バランスを崩す。「そうか病出るな！」と念じながら散布。

**2019年
1月後半**

種芋購入。種を日光に当て、強い芽を育てる作業を行う。ビニールハウスの中に平らに並べるだけだが、効果は大きい。種代に10万円以上の出費400kgの種で何トンの収穫になるだろう。

2月中頃

畑に肥料を散布。米ぬかやアミノ酸肥料、マグネシウムやカルシウムといったミネラルも投入。全部で900kg、人力散布疲れる。機械が欲しい。

2月後半

成長促進、畝を作るため畑に「マルチ」を張る。水分保持、保温効果に期待。全長で3300m、作業機械が歩行型なので2日間の筋肉痛。体重1.5kg減る。

3月前半

植える準備。種芋を切る。400kgのじゃがいもを包丁で8時間切る。指が痛い。けんしょう炎。切断後、一週間以内に定植。今年は雨ばかりで畑が水田に変化。足元はドロドロ。田植えをしているのではないかとと思うほど。

以上がじゃがいも栽培で「要」となる植付けまでの作業です。植付けまでの作業で収量の8割～9割が決まる。追加で肥料は撒きませんし、農薬も病害虫が出なければ使いません。じゃがいもの力に頼るのです。さ～て、どう育つでしょう。

次回、じゃがいもの花が咲く頃お伝えします。

(山武市 石渡雄悠)